



川北中学校 学校だより

キラリ☆ 川北中



令和8年2月2日
校長 沖田 尚

鬼を追い出す努力 福を呼び込む工夫

2月は立春を迎え、季節が冬から春へと移り変わる月です。節分は立春の前日で、今年は2月3日です。節分には「鬼を追い出し、福を呼び込む」という意味があり、これは昔からの行事にとどまらず、私たちの生活や心の在り方にも通じる大切な教えです。

皆さんにとっての「鬼」とは何でしょうか。苦手な勉強から目を背けてしまう心、失敗を恐れて挑戦しない気持ち、つい人のせいにしてしまう弱さ、怠けてしまう自分かもしれません。鬼は目に見えませんが、心の中に静かに生まれ、自分の成長を妨げます。その鬼を追い出すためには、強い意志と日々の努力が必要です。毎日の学習を大切にすること、最後までやり抜くこと、自分と向き合い逃げずに取り組むこと等が、鬼を外へ追い出すことにつながります。

一方、「福」は何をせずとも自然に入ってくるものではありません。福を呼び込むには、日常の中での小さな心がけが大切だと思います。例えば、元気なあいさつ、周囲への思いやり、感謝の気持ちを言葉にすることなど、友達や先生、家族との関わりの中で信頼を積み重ねることが、自分の周りに温かな空気を生み、福を引き寄せることになります。

2月は、一年のまとめに向かう月です。自分の中の鬼を見つけ、追い出す努力をしながら、福を呼び込む工夫を重ねていきましょう。その積み重ねが、次の学年、次のステージ、そして未来の自分につながっていきます。



「夢 やぶれない」

今年も、川北郵便局様が「夢やぶれない」しおりを、高校受験を控えた3年生全員に届けてくださいました。このしおりは、県の指定伝統的工芸品である加賀雁皮紙を使って作られており、非常に丈夫でやぶれない手すき和紙であるため、毎年、川北郵便局様が受験のお守りとして、3年生にプレゼントしてくださっています。

か が かんぴし
加賀雁皮紙（加藤和紙）

